



好きな方、一緒に楽しくゴルフをして、校友との親交を図ってみませんか？

### 校友会の楽しさ

植野 宏美  
(平22 経済学部卒)

「卒業後の方が、立命館大学の良さが分かってくる」

校友会で知り合った友達の言葉です。大学時代も充実した楽しい毎日を送れましたが、私も立命館に行つて良かったとの実感が強まったのは、卒業後の今の方だと思っています。在学中には判らなかつた立命館の「大きさ」というものを感じているからです。

昨年の夏、会社で立命館出身の大先輩から声をかけて頂き母校の「広島県校友大会」に参加することになりました。そこでの出会いをきっかけに、パンサーズの応援に行く計画を立てたり、忘年会にも呼んで頂いたり、広島校友会のSNSを立ち上げたり、ハナミズキの会に参加させて頂いたり、先日は愛媛校友会の同世代の仲間と合同で集まったり卒業後も、少しずつ立命館の友達の輪を広げることができ

ています。夏には南の島への旅行も計画中で、今からとても楽しみです。大学生活の4年間はあっという間でしたが、校友会での

繋がりは、今後もずっと続いていくのではないのでしょうか。次回の広島県校友大会では、もっと多くの同年代の卒業生とも話が出来たらと思ってい

ます。参加を迷っている人は迷うことなく、是非出席してみてください。

将来は高校の日本史の先生になろうと漠然と考えていた。高校の先生に相談したら「奈良本辰也、林屋辰三郎という日本史の京都学派を代表する先生がおられる立命館へ行け」と勧めてもらった。そんな偉い先生でなくても、と思ったが、とにかく立命館大学文学部の学生になった。昭和33年のことである。当時の文学部には今は故人と

から40年にかけての頃である。日本史の先生、ごころの騒ぎではなかった。やがて文化部に移って美術担当になり、どうにか静かに過ごせるようになった。その頃、文化関係の評論やエッセイなどを、よく奈良本先生にお願いした。先生はご多忙中でも、出来の悪かつた教え子のために、快く引き受けて下

にかく70歳定年までの15年間勤めた。その間、僭越ながら図書館長や副学長まで経験させてもらった。目出度く47年間に及ぶサラリーマン生活に終止符が打てると思っていたところ、呉市から「市立美術館長が急に退任したので…」との要請があった。「声をかけてもらう間が花」とおだてられ、平成21年の春に慌ただしく館長職についた。

### 私の履歴書

### 卒業して半世紀



呉市立美術館長  
比治山大学名誉教授  
寺本 泰輔  
(昭37 文学部卒)

なられた「画辰先生」を始め梅原猛、古代史の権威である上田正昭という錚々たる先生方がおられた。中でも奈良本先生は、幕末・維新史研究のスター的存在であった。先生は山口県周防大島のご出身で隣県である広島の私には目をかけて頂いた。

定年まであと6年の時に論説委員となり、それなりに「天寿」を全うしようという

立命館の校友は多方面で活躍である。中国新聞社には10人ばかり、呉市役所には30人近くがいる。かつて比治山大学には私を含め4人が教壇に立っていた。何かと支援を頂き、校友の絆の深さに感謝している。

しかし、どうも風吹き具合か、卒業と同時に中国新聞社に入社することになった。しかも入社と同時に社会部に配属され、否も応もなく暴力団の取材班に回された。「仁義なき闘い」の真つ只中の昭和37年

時期、比治山大学に現代文化学部が創設され、そこに移れという話を持ち込まれ、大学の教師になった。高校ではなく大学で教鞭をとることとなり、喋る内容も「日本史」ではなく美術を主体とした「現代文化論」に変わったが、と

母校の発展は喜ばねばならないが、ただ、広小路や末川総長を知らず、60年安保や「わだつみの像」から縁遠くなった後輩達の増えることに、いささかの寂しさを覚える。これを老いといつのであろうか。

ユビキタスネットワーク社会の未来を担う  
新しいITサービスの創造をめざして

——トータルな視点で、お客様の個別的な情報ニーズに応えます

代表取締役社長 神田 洋嗣  
(昭和46年 理工学部卒業)

ハイエレコン  
http://www.hai.co.jp/

本社 772-0381 広島市西区東観音1丁目2-135 広島ミクスビル5F  
TEL(082)279-8001 FAX(082)279-8005  
東京本社 〒114-0032 東京都中央区八丁堀1-5-1 (本人車社ビル8F)  
TEL(03)5941-8821 FAX(03)5643-2090  
大阪支社 〒541-0043 大阪市中央区船場1-5-9 (船場和信ビル5F)  
TEL(06)4705-7008 FAX(06)4705-7010

宝石は身につけられる小さな彫刻  
心豊かな日々の中に 愛されるジュエリーを  
創り続けてゆきたい...

宝石鑑定士 吉野谷 茂  
(昭和43年 文学部卒業)

宝飾デザイン 藝ガシユ TEL (082)233-3838  
〒730-0801 広島市中区寺町5-23 FAX (082)292-6505

起工式・竣工式・開通式・各種イベント総合企画施工

株式会社 アサヒ

代表取締役 村上 将昭  
(昭和41年 経営学部卒業)

〒733-0032  
広島市西区東観音町14番18号  
TEL (082)294-1187  
FAX (082)293-2782  
E-mail: asahi187@carrot.ocn.ne.jp

印刷 おま

倉 有限会社  
住所 〒733-0861 広島市西区草  
TEL (082) 2  
FAX (082) 2  
E-mail: sougen@

平成22年度会計報告 (平成21年8月1日～平成22年7月31日)

収入の部 (単位:円)

科目	予算金額	収入金額
前年度繰越金	221,795	221,795
年会費	650,000	680,000
総会・懇親会費	1,030,000	964,000
本部校友会賛助金	200,000	200,000
会報紙広告代	200,000	200,000
諸収入(螢窓会寄付)	50,000	50,000
同上(その他諸収入)	50,000	40,000
合計	2,401,795	2,355,795

支出の部 (単位:円)

科目	予算金額	支出金額
総会費	1,300,000	1,095,940
会報紙発行費	470,000	493,449
役員会会議費	60,000	24,656
交通費	80,000	83,200
慶弔費	10,000	11,452
地区支部活動強化支援金	100,000	69,292
広報(会報・IT)活動費	20,000	2,000
事務費	30,000	7,563
通信費	70,000	49,150
振込手数料	50,000	31,460
予備費	211,795	0
翌年度繰越金	0	487,633
合計	2,401,795	2,355,795

県校友会会費納入のお願い

— 会費は納めにゃあいかんたらうなあ —  
 ありがとう

年会費 2,000円

- ・会費は校友会活動のエネルギー
- ・総会出席は一期一会

同封の払込用紙で郵便局からお支払ください。

東日本大震災で被災された皆様に  
 心からお見舞いを申し上げます。

昨年9月の広島県校友大会からの帰りのバスの中で、私は何気なく、「会長さん、このお歳までご夫婦が元気で、お酒も飲め、ゴルフも楽しめる。健康に感謝しなければいけませんね」「その通り、私は健康に感謝をしています」この会話から、わずか6



追悼  
**大先輩 新宅雅幸さんを偲んで**  
 呉地区同窓会事務局長 中川 義角  
 (昭43 経済学部卒)

私に限りない深い悲しみを覚えるとともに親しく接していただいただけに、その慈顔がほづふつと眼前に去来し、未だに夢のように思えてなりません。

私も呉地区同窓生にとつて会長は日向に向かって立つ大きな壁のような存在で、特に私はいつもそのその大きな壁にすがりながら、暖かい日差しを受けて同窓会の発足、開催等を進める事が出来ました。

最後に、新宅雅幸会長の「冥福を心よりお祈り致します。」

昨日、立命館大学広島県校友会副会長はもとより呉地区同窓会会長、呉わだつみ会会長として、誰よりも立命館を愛し発展を願われ、同窓会活動にも積極的に参加された新宅雅幸先輩が米寿の賀のさなか急逝されました。

「ご存知のように、広島県校友大会ではいつも中締め挨拶をされたことは皆さまの記憶に新しい事と思います。会長は特にゴルフが趣味で呉わだつみ会、呉地区同窓会同立ゴルフ大会、リッツ広島ゴルフコンペと、ほとんど皆勤で各会の運営・発展に多大な貢献をされました。葬儀の会場に愛用のゴルフバッグが寂しそくに置かれていました。また、会長は(有)シタク企

面を営まわれながら、呉つるめライオンズクラブでも長い間会長を務められ、私が呉市文化ホール館長の折、大学教授でピアノストの「子息さんと二胡演奏妻氏とのコンサートを催され市民を楽しませて下さいました。」

地域の人材こそ宝・立命館

公認会計士 石橋 三千男 事務所  
 (昭和49年 経営学部卒業)

税理士 石橋 三千男 事務所 広島市中区八丁堀2番4号  
 税理士 末本 朱美 サンシティ八丁堀2階  
 有限会社 RIG 経営研究所 TEL(082)227-0564  
 代表取締役 石橋 三千男 FAX(082)227-1322  
 E-mail: mitchan@f2.dion.ne.jp

- ◆ 会計監査
- ◆ 社団法人・財団法人の公益認定等へのコンサル業務
- ◆ 非営利法人の会計指導
- ◆ 事業承継・相続対策・相続税申告
- ◆ 法人税・消費税等の税理士業務
- ◆ 株式評価 ◆ 企業再編・再生

第32回日本公認会計士協会全国研究大会が  
 平成23年9月16日広島で開催されます。

【メインテーマ】心ゆたかな社会を支える  
**公認会計士 公正・誠実・信頼**

いつ、どんな時でも人々は経済的にも精神的にも自由でかつ豊かな生活を求めています。我々公認会計士は独立した立場において、財務情報の信頼性を確保することによって健全な社会の発展に寄与することが使命であります。時代の転換期にある今こそ、企業の会計・監査の分野に限られることなく、広くさまざまな地域やあらゆる分野で活躍できる有為な公認会計士が数多く求められています。公正に誠実さをもって行動し、社会の信頼に応え、社会の発展に寄与する。この認識の下、日本公認会計士協会は、東北地方太平洋沖地震からの復興を心から願い、第32回研究大会を废墟からみんなの力を結集し、みごとに新しい街を作り上げた「HIROSHIMAの地」において、「心ゆたかな社会を支える公認会計士 公正・誠実・信頼」をメインテーマとして開催いたします。

高面治美 法律事務所

弁護士 高面 治美  
 (昭和47年 法学部卒業)  
 〒730-0012 広島市中区上八丁堀5番27号  
 アーバンビュー上八丁堀902号  
 TEL 082(227)5091 FAX 082(227)5099

